

小学校3年生・4年生向け

友だち同士の けんかとその解決



友だち同士のけんかとその解決



第1 概要

▶ 1 新学習指導要領における位置づけ

学習指導要領の「第6章 特別活動」「第2 各活動・学校行事の目標及び内容」〔学級活動〕「2 内容」〔共通事項〕「(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全」「ウ 望ましい人間関係の形成」

▶ 2 単元設定の趣旨

本事例で取り上げる題材は、けんかを解決するための交渉・調停を役割演技によって児童に行わせることを通じて、自分たち自身の力や第三者の介入のもとで紛争解決を行うことの意義と心構えを児童に実感として理解させようとするものである。小学校においては、発達段階として、民事司法制度の意義についての学習ができるまでには至っていないと思われるが、本事例のような学習を行っておくことで、中学校段階以降で、民事司法制度や紛争解決制度の意義を学ぶ際に、より深い理解を得る土台を形成することが期待される。

また、本事例は、与えられた題材の中で、自分が担当する役割として不満に思うこと、知りたいことは何かを正確に把握し、その上で、けんかの当事者としてどのような言葉づかいで自分の不満を相手に伝えるか、相手にどのような質問をするか、どのような態度で相手の不満を聞くか（第1時「交渉編」）、上記の各点に加えて、調停人を交えて話し合いをする場合には、各当事者・調停人としてどのような点について留意すべきか（第2時「調停編」）を、児童なりに考えさせるよう工夫されており、読む、話す、聞くといった基本的な言語能力を身に付けることも期待される。

▶ 3 単元目標

- 1 紛争が発生することは避けられないこともあり、そのような場合には、発生した紛争を解決することが重要であることについて理解する。なお、紛争とは、一般的に争っている状態を指し、その具体例の一つに、口論等で争うけんかが含まれる。
- 2 紛争の解決方法として、当事者間の交渉や、第三者を交えた調停等があり、それぞれの特徴等について、役割演技を通じて実感として理解する。
- 3 生活の中で起こる紛争を解決するために必要な態度や心構えを身につける。

第2 指導計画

3部構成・総合計3時間
(1部構成とし、1時間とすることも可能)

第1時

けんかの解決方法を 考えよう「交渉編」

特別活動

本時の
ねらい

友だち同士のけんかを当事者間の交渉によって解決する活動を通じて、けんかとその解決方法について考えさせる。

【留意点】

〔学級活動〕〔2 内容〕〔共通事項〕〔(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全〕は、集団での話し合いを通して、個人の目標を自己決定し、個人で実践する児童の自主的、実践的な活動を特質としている。したがって、これらの特質を踏まえた話し合い等の活動過程を大切にしていく。



	学習活動	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿
事前の指導	<ul style="list-style-type: none"> ● 題材を知る。 「友だち同士のけんかとその解決」 自己の体験・経験について、アンケートに答え、振り返っておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 道徳 役割・責任 「身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす」と関連させて指導する。 ● 「友だち同士のけんか」についての様々な体験を掘り起こす。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「友だち同士のけんか」について、自分の体験を振り返っている。
本時の活動	<ul style="list-style-type: none"> ● けんかを解決するための交渉・調停を役割演技によって児童に行わせることを通じて、自分たち自身の力や第三者の介入の下で紛争解決を行うことの意義と心構えを児童に実感として理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自己の体験を振り返りながら、資料1の事例を通じて、「紛争を解決すること」について考える。 ● 資料 〔事前アンケート結果〕 参考資料1(教師用) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 紛争を解決することの重要性をつかんでいる。 ● 紛争を解決する際にどのような態度が必要か実感できている。
事後の指導	<ul style="list-style-type: none"> ● 紛争を解決する際に必要とされる態度を学んだことを受け、それを日々の生活の中で活かせるよう努力する。 ● 自身の成長を振り返る中で、更なる課題意識を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 紛争の解決に苦手意識のある子どもには、自分の生活を定期的に振り返らせ、生活の中で起こる紛争を解決するための必要な態度及び心がまえを身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の不満や他人の不満を聞く際の言葉遣い・態度を身につけている。

	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の 留意点	資料等
導入	① けんかについて 	● 授業の前に → 参考資料(児童用) を児童に配布し, アンケートをとる。 T: 「けんかはいいことだろうか, 悪いことだろうか」 C: 「悪いことだと思う」 C: 「よくないとは思うけど, どうしてもけんかになってしまうことがある」 C: 「けんかしてしまうことは仕方ないけど, ずっとけんかし続けることはいけない。ちゃんと仲直りすることが大切」 T: 「今日は, けんかしてしまった人たちになりきってみて, 仲直りできるか話し合ってみよう」 <div style="border: 2px solid #e91e63; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; color: #e91e63; font-weight: bold;"> 友だちとのけんかをどのようにして解決したらよいだろう。 </div>	・事前にアンケートを行い, その結果をもとにけんかについて振り返ることも考えられる(ある学校で行われたアンケート例は, 参考資料1(教師用)のとおり)。	<div style="border: 1px solid #e91e63; padding: 2px; display: inline-block; color: #e91e63; font-weight: bold;">参考資料1</div> <div style="border: 1px solid #e91e63; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; color: #e91e63; font-weight: bold;">教師用</div> <div style="border: 1px solid #e91e63; padding: 2px; display: inline-block; color: #e91e63; font-weight: bold;">参考資料</div> <div style="border: 1px solid #e91e63; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; color: #e91e63; font-weight: bold;">児童用</div>
展開	② けんかの役割演技と解決に向けた当事者間の交渉	● AさんとBさんで起きたけんかについてのシナリオ(資料1)を児童の代表が役割演技する。 → 児童に 資料1 及び ワークシート1 を配布し, ワークシート1 の①へ記入させ, 発表させる。 T: 「二人がどんなことに怒っていて, どんな気持ちになったかを考えよう」 T: 「役割演技を終えて, どんな気持ちになったかな」	・けんかしたときの気持ちを思い出させながら, シナリオ通りに代表者に役割演技させる。 ・シナリオの言葉づかいについては, 地域の方言などを織り込むとよい。 ・資料1は最初から配布はせず, 役割演技が終わってから配布する。 ・必要に応じて, 教師からシナリオの内容を分かりやすくまとめて, けんかの内容を児童がとらえられるようにする。	<div style="border: 1px solid #0070c0; padding: 2px; display: inline-block; color: #0070c0; font-weight: bold;">資料1</div> <div style="border: 1px solid #0070c0; padding: 2px; display: inline-block; color: #0070c0; font-weight: bold;">ワークシート1</div>

	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の 留意点	資料等
展 開		<p>●4人ずつの班に分かれ, Aさん役(2人), Bさん役(2人)をそれぞれ分担し, Aさん・Bさんになりきって, 仲直りできるように話し合う。</p> <p>T: 「最初に作戦タイムを取ります。どんなことを相手に対して言いたいのか, 何を相手から聞きたいのか, 相手はどんなことを言ってくると予想されるのか, どのように解決したらよいかなどを考え, 話し合おう」</p> <p>T: 「与えられた事例の中では分からない事柄について質問があったら, 自分たちで想像して答えてみよう」</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>→ 児童にワークシート1の②へ記入させ, 発表させるとともに, 班の話し合いの結果について, 班ごとに発表させる。</p> </div> <p>●話し合いをしてみた感想を発表する。</p> <p>T: 「話し合いをしてみて, どうだったかな」</p> <p>C: 「また, 言い合いになった」</p> <p>C: 「ますます, けんかになった」</p> <p>T: 「それは, どうしてかな」</p> <p>C: 「2人ともすごく怒っているから」</p> <p>C: 「話し合いの中で相手グループが言ったことが気に入らないから」</p> <p>●どうしたらけんかを解決できるか考える。</p> <p>T: 「このまま2人で話し合いをしても解決できないときには, どうすれば解決できるだろうか」</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>→ 児童にワークシート1の③へ記入させ, 発表させる。</p> </div> <p>C: 「別な人に入ってもらうといいと思う」</p> <p>C: 「教師に話す」</p> <p>C: 「親に相談する」</p> <p>C: 「Cさんが間に入って話を聞いてみる」</p>	<p>・けんかとその解決に向けた努力を現実のものとして実感することができるように話し合わせることに留意する。</p> <p>・安易に妥協してしまわないよう, お互いが怒って感情的になっているという自分たちの立場を理解し, その立場になりきって議論するように指導する。</p>	

	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の留意点	資料等
まとめ	<p>③ けんかとその解決について</p>	<p>● けんかに関する自分自身の過去の経験を思い出し, どのような点が弱かったのか, これからの自分の生活においてどのように生かしていくかを考えさせる。</p> <p>→ 児童にワークシート1の④へ記入させ, 発表させる。</p>	<p>・この時間の学習の後に第2時「調停編」の学習を行う場合は, 「次の時間では, 第三者がけんかの調停に入ったらどうなるのかについて, 考えていこう」という形でまとめる。</p> <p>・けんかが起こってしまってもそれを解決することが大切であること, 感情的に話し合うとうまくけんかを解決できないこと, 当事者だけではうまく解決できなかつたら, 誰かに入ってもらうと話し合いがしやすいことについて, 自分の考えをまとめさせる。</p> <p>・大人の世界でも争いや対立は存在するが, 当事者の間に入って争いを解決するものとして裁判所などの司法機関があることについて補説してもよい。</p>	<p>ワークシート1</p>





けんかについてのアンケート〈例〉

1

今の学年になってから、どんな人とけんかしましたか？

- 家族（両親，きょうだい）
- 友だち
- 誰ともしていない



2

今までにどんな理由でけんかしましたか？
思い出せるだけ、たくさん書いてください。

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| ● 相手が勝手に怒って、けんかになった | ● ちょっかいの出し過ぎ |
| ● ふざけて遊んでいたたり、じゃれ合ったりしているうちにけんかした | ● ぶたれたから |
| ● 注意したら、逆ギレされた | ● ゲームで負けたから |
| ● テレビチャンネルの取り合い | ● 物の取り合い |
| ● 勝手に物を取られた | ● ばかにされた |
| ● 暴力をふるわれた | ● いじめられた |
| ● 言い争い | ● 暴力をふるってきた |
| ● 嫌がることをされたから | ● 無視された |
| ● 待っていたのに一緒に帰りたくないと言われたから | ● 陰口を言われた |
| ● 意見の違い | ● 兄とどちらが先に風呂に入るかで |
| ● 悪口を言われたから | |
| ● どちらかの勘違い | |
| ● 冗談を言ったら、誤解されたから | |
| ● 友だちがまとまって、どこかへ行ってしまったから | |

3

けんかをした後、その相手にどんな行動や態度をとりましたか？

- | | |
|--------------------------|---------------|
| ● 話さなかった | ● けったり、ぶったりした |
| ● 恥ずかしくて謝れなかった | ● 悪口を言った |
| ● にらみつけた | ● 謝りたくないと思った |
| ● その日は口をきかない | |
| ● しばらくすると、もとに戻るから普通にしている | |
| ● 謝った | |
| ● 嫌がらせをした | |
| ● 話し合い | |
| ● 無視した | |





4

それは、どうしてですか？

- 相手が話さなかった
- むかついたから
- うざったく思ったから
- 早く仲直りをしたいから
- 友だちでいたいから
- 相手に頭をたたかれたり、体当たりされたりしたから
- 自分が悪いと思ったから
- イライラしているから
- 相手が悪いのに謝らなかったから
- 謝らないと仲直りができないから
- ずっと、その状態にいるのはいやだから
- 謝るとすっきりするから

5

その相手とけんかして、仲直りできなかったら、あなたは、どうしますか？

- どこがいけないかを聞く
- どうしようと悩む
- 許してもらうまで謝り続ける
- 誰かに相談する
- そのままにしておく
- 時間を置いてから謝る
- 1人ぼっちになってしまう
- しばらく、そのままにする
- 悲しくて、泣いてしまう
- 友だちにわけを聞いてもらう
- 裏切られたから、別にいい
- 相手に優しくする
- あきらめる



6

学校で友だち同士がけんかをしている所を見たら、あなたは、どんな行動をとりますか？

- けんかの理由を聞いて、お互いどうしたらいいか伝え、仲直りさせる
- 止めさせる
- 注意する
- 同じ気持ちになって考えてあげる
- 暴力をふるったら、すぐに止める
- 放っておく
- 見ている
- 原因を2人に聞く
- 事情を聞く
- 2人とも謝るように言う
- やめさせてもだめなら教師を呼ぶ





けんかについてのアンケート



1 いま がくねん今の学年になってから、
ひとどんな人とけんかしましたか？

Blank space for answer to question 1.



2 いま今までにどんな理由でけんか
おもしましたか？思い出せるだけ、
かたくさん書いてください。

Blank space for answer to question 2.



3 あとけんかをした後、その相手にどんな
たいど行動や態度をとりましたか？

Blank space for answer to question 3.



4 それは、どうしてですか？

Blank space for answer to question 4.



5 あいてその相手とけんかして、
なか仲直りできなかったら、
あなたは、どうしますか？

Blank space for answer to question 5.



6 がっこう学校で友だち同士がけんかを
ところしている所を見たら、あなたは、
こうどうどんな行動をとりますか？

Blank space for answer to question 6.

マンガの貸し借り(シナリオ)

ある日、Aさんは、Bさんの家に遊びに行きました。



Aさん

おもしろそうなマンガも持ってるね。
ぼくに貸してよ。



Bさん

このマンガは、あまり貸したくないんだよね。
このマンガを描いてるマンガ家のサインが書いてあるんだよ。



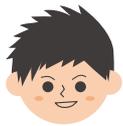
Aさん

すごいね。おれ、このマンガ家のファンなんだよ！
大事にするから、貸してよ。



Bさん

しょうがないなあ。なるべく早く返してくれよな。



Aさん

わかったよ。だいじょうぶだよ。

(Aさんは、マンガを持って家に帰る。)

2週間後、BさんがAさんの家に遊びに行きました。



Bさん

ぼくのマンガ、早く返してくれよ。



Aさん

わかったよ。まだ返したくなかったけど・・・ありがとな。

(ふくろに入れたマンガをBさんに返す。)

Bさんは、家に帰って、ふくろからマンガを出したら、サインが書かれていたマンガの表紙が破れていて、すごくよごれていることに気がつきました。





つぎのひ、がっこうで



Bさん 昨日返してくれたマンガの表紙が破れて、よごれていたんだけど、どうしてだよ？



Aさん そんなの知らないよ。



Bさん 知らないわけないだろ。いつも、おまえは、そう言うってうそをつくんだよな。



Aさん なんだと！うそなんかついてないぞ！



Bさん うるさい！おれの大事なマンガをどうしてくれるんだよ！弁償しろよ！



Aさん おれには関係ないよ。なんでおれが弁償しなきゃいけないんだよ！



Bさん 無責任なやつだな。やっぱり、マンガを貸すんじゃないよ。お前とは、もう遊ばないからな！許さないぞ！



Bさんは、Aさんをつきとばしました。



Aさん 痛いな！何するんだよ！すぐに暴力をふるうやつと、だれが遊んでやるかよ！おまえだって、おれに返してないものがあるだろう！ばかやろう！おれだって、許すもんか！

2人は悪口を言い合ってけんかになり、その後、口をきかなくなりました。本当は2人とも仲直りしたいけど、できないでいます。

AさんとBさんがけんかしたとき、AさんとBさんの友だちであるCさんがそばにいて、2人の様子を見ていました。

AさんとBさんの問題をどのようにかいつ決したらよいですか。お互いが納得のいく(賛成できる)よいかい決策を考えましょう。





ねん 年 くみ 組 ばん 番 なまえ 名前 ()



とも 友だちとのけんかをどのようにしてかい決したらよいだろう

① Aさん, Bさんはどんなことにおこっていて, どんな気持ちでしょうか。

Aさん

Bさん



はな あ 話 合 っ て み て ど ん な き も 気 持 ち に な り ま し た か。

③ どうしたらけんかをかい決できるとおもいますか。

きょう じゅぎょう かんそう か ④ 今日 の 授 業 の 感 想 を 書 き ま し ょ う 。

第2時

けんかの解決方法を
考えよう「調停編」

特別活動

本時の
ねらい

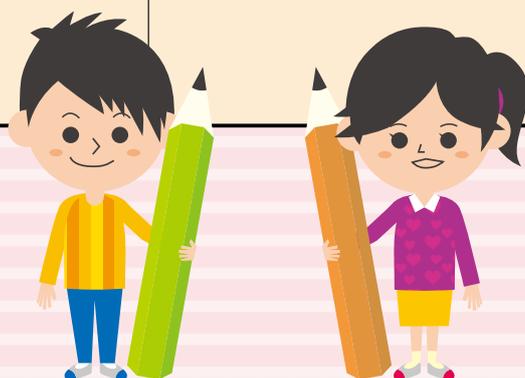
友だち同士のけんかを調停によって解決する活動を通じて、けんかとその解決方法について考えさせる。

	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の 留意点	資料等
導入	<p>① 事例の確認</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●シナリオの役割演技をもう一度行い、事例を確認する。 <p>→ 児童に資料1を配布する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各班ごと(4人)にAさん(1人), Bさん(1人), Cさん(2人)と役割を決めて、話し合いの仕方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活発な議論を行わせるため、学級の実態にあった班を意図的に構成しておくことも考えられる。 ・第1時「交渉編」の学習は行わず、単発でこの題材を扱う場合は、資料1の導入部分を用いる。 	<p>資料1</p>
展開	<p>② 調停による話し合い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●前の時間の題材のAさんとBさんのけんかがうまく解決できなかったとして、Cさんに間に入ってもらい、話し合う。 <p>T: 「Cさん役は、Aさん、Bさんが仲直りできるように、お互いがうまく言えないことを聞き出そう」</p> <p>→ 児童にワークシート2を配布し、役割分担に基づき、資料2-1(Aさん用シークレットカード)、資料2-2(Bさん用シークレットカード)、ワークシート3(Cさん用質問カード)を配布する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Cさん役が、Aさん役とBさん役が持っているシークレットカード(資料2-1, 資料2-2)に書かれていることを聞き出せたら、質問は成功。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの立場を理解し、その立場になりきって、仲直りできるような解決策を考えた話し合いができるようにする。 ・解決策を考えるに当たっては、例えば謝罪については具体的にどのようなことについて謝るのか、物の引渡しの場合にはいつまでに引き渡すかなど、できるだけ具体的に考えるよう指導する。 	<p>ワークシート2</p> <p>ワークシート3</p> <p>資料2-1</p> <p>資料2-2</p>

友だち同士のけんかをどのように解決したらよいただろう。

	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の 留意点	資料等
		<ul style="list-style-type: none"> ● Aさん役, Bさん役は, それぞれ言いたいけどうまく相手に言えないことが書かれたシークレットカードを使って答える。シークレットカードに書かれていることを聞かれたら, カードの記載のとおり答えるが, シークレットカードに書かれていないことを聞かれた場合は, 役になりきって答えを考える。 ● Aさん役, Bさん役は, Cさん役からの質問が終了したら, その役割にとって望ましい解決を考える。 <p>→ Cさん役を除く児童にワークシート2の①へ記入させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Cさん役は, 司会者と記録者になり, Aさん役・Bさん役のそれぞれの言い分を聞いて, どんな解決策がよいかを考える。 <p>→ Cさん役にワークシート3の②へ記入させ, 提案させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Cさん役の提案を受け, 仲直りできるか話し合う。 <p>T: 「提案を受け解決できたかな」</p> <p>→ Aさん役・Bさん役にワークシート2の②③④へ記入させ, 班ごとに発表させる。</p> <p>T: 「仲直りできた班に, どんな解決策になったか発表してもらいます。解決できた班は, どうして解決できたと思いますか」</p> <p>C: 「Cさん役がお互いの話をよく聞いて, 問題を整理してくれたから」</p> <p>C: 「Cさん役がいい解決方法を思いついたから」</p> <p>C: 「Aさん役・Bさん役も, Cさん役がいることで冷静に話げできたから」</p> <p>C: 「Cさん役に話すことで, いやな気持ちが少しスッキリする気がしたから」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特にCさん役には, 争点を明確にするなど, 話し合いを整理しながら進めるよう指導する。 ・それぞれが提案する解決策の例は, 参考資料2(教師用)のとおり。 	<p>参考資料2 教師用</p>

	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の留意点	資料等
展開		<p>T:「解決できなかった班は、どうして解決できなかったと思いますか」</p> <p>C:「感情的になって、相手の話を聞かないで自分のことばかり主張したから」</p> <p>C:「Cさん役が片方の当事者に肩入れしているように見えたから」</p>		
まとめ	⑤ けんかとその解決について	<p>● 第三者が入ると話し合いがうまくいくことがあるのはなぜかなど、けんかに関する自分自身の過去の経験を思い出し、どのような点が弱かったのか、これからの自分の生活においてどのように生かしていくかを考えさせる。話し合った感想をまとめる。</p> <p>→ 児童にワークシート2の⑤へ記入させる。</p>	<p>● 第二時で学習を終える場合は、次のようにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けんかが起こってしまってもそれを解決することが大切であること、感情的に話し合うとうまくけんかを解決できないこと、当事者だけではうまく解決できなかったら、誰かに入ってもらうと話し合いがしやすいことについて、自分の考えをまとめる。 ・大人の世界でも争いや対立は存在するが、当事者の間に入って争いを解決するものとして裁判所などの司法機関があることについて補説してもよい。 	



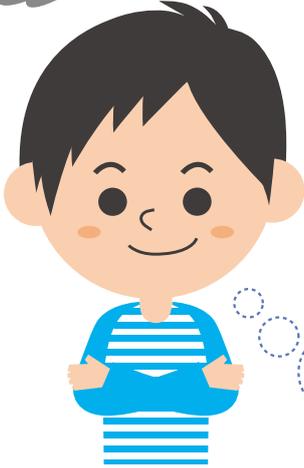


ねん 年 くみ 組 ばん 番 なまえ 名前 ()



とも どう し けつ
友だち同士のけんかをどのようにしてかい決したらよいだろう

① ()さんが考えた仲直りができると思うかい決策 (Cさんからの質問が終わったら書こう!)



Large empty box for writing answers to question 1.



② うまく話し合いでかい決できましたか。 はい ・ いいえ



③ (かい決できた班) どのようにかい決することにしましたか。

Large empty box for writing answers to question 3.



④ (かい決できなかった班) 何が問題でかい決できなかったのですか?

Large empty box for writing answers to question 4.



⑤ 話し合ってみた感想を書きましょう。

Large empty box for writing answers to question 5.



Aさんのシークレットカード

マンガをよごした理由

- 実は3歳の弟がマンガをよごして破ってしまった。

Bさんから返してもらっていないもの

- Bさんに貸したカードゲームのレアカードを5枚も返してもらっていない。

Bさんに対して怒っていること

- Bさんは、ふだんから暴力をふるうことが多く、今回もつきとばされて痛かった。

あやまりたいこと

- マンガをよごしたのは弟だけど、だまってマンガを返したことは、謝りたい。



よう
Bさん用
シークレット
カード

Bさんへ
マンガ家



Bさんのシークレットカード

Aさんに対して怒っていること

- 大切なマンガをよごし、破っただけでなく、そのことをAさんがだまっていたこと。

知りたいこと

- どうして、マンガをよごして破ったのか理由を教えてほしい。

Aさんに返していないもの

- Aさんのレアカードを5枚借りている。

謝りたいこと

- つきとばしたことは、謝りたい。でもAさんが先に謝らないかぎり、謝りたくない。





ねん 年 くみ 組 ばん 番 なまえ 名前 ()



Cさん用質問カード

① (質問のヒント)

- Aさんは、どんなことについておこっているのでしょうか。
- Bさんは、どんなことについておこっているのでしょうか。
- マンガの貸し借り以外に、困っている問題 (サインが入ったマンガの表紙が破れていること、BさんがAさんに返していない物があること、Bさんがすぐに暴力をふるうこと) をどのようにかいつ決したいですか。
- 仲直りするためにAさんとBさんは、どうしたらよいですか。
- 謝ること以外に、相手にしてほしいことや、相手にしたいことは何ですか。



※その他に仲直りできるために聞き出したいことは、自分で考えて質問しましょう。

② (提案)

今までの質問から、わたし(ぼく)たちは、AさんとBさんが仲直りできるかいつ決策を考えました。

- Aさんは、()するのがいいと考えました。
理由は、()だからです。
- Bさんは、()するのがいいと考えました。
理由は、()だからです。

わたし(ぼく)たちのかいつ決策に、納得(さんせい)できたら、言葉を交わして、仲直りをしてください。

まだ、お互いの考えや気持ちに、納得(さんせい)できないとしたら、さらにお互いの考えや気持ちを落ち着いて話してください。



AさんやBさんから聞き出したことをメモしよう!



Aさんの解決策例

- 謝りたい。
 - マンガの代わりに、いまBさんに貸しているレアカードのうち2枚と、汚してしまったマンガと同じマンガを貯金で買って渡したい。
 - レアカードの残り3枚は返してほしい。
 - 今後暴力はふるわないことを約束して欲しい。
- (その他、話し合う中で出てきた意見をもとに、自由に考える)



Bさんの解決策例

- 自分が悪かったことは謝る。
 - Aさんの弟がやってしまったことは仕方ないので、別の新しい人気マンガ1冊を買ってもらい、わたしてほしい。
 - 借りていたレアカード5枚は、Aさんにすぐに返す。
- (その他、話し合う中で出てきた意見をもとに、自由に考える)



Cさんの解決策例

- Aさんは、弟がマンガを破って汚してしまったこと、だまってよごれたマンガを返してしまったことを謝る。
 - Bさんは、Aさんをつきとばしてしまったことを謝って、もう暴力をふるわないと約束する。
 - Aさんは、新品の同じマンガを買って、漫画家に手紙を出し、もう一回、サインをもらって、マンガを返すか、Bさんの気に入る新しい別のマンガを買って返すか、レアカードのうち何枚かをBさんにあげるか、Bさんが納得する方法を選んでもらい、来週までに実行する。
 - Bさんは、借りているレアカードを明日までに返す。
 - 納得がいけないところがあったら、両親や教師に話して、アドバイスや意見を聞く。
- (その他、話し合う中で出てきた意見をもとに、自由に考える)

生活におけるけんかとその解決方法

第3時

特別活動

本時のねらい

交渉と調停の違いを意識しながら、前時の学習の問題点やCさんの立場について考えさせ、紛争解決を実際の学校生活にどのように生かしたらよいかを話し合うことができる。

	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の留意点	資料等
導入	① 交渉と調停の結果の違い	<ul style="list-style-type: none"> ● AさんとBさんで話し合った時とCさんが入って3人で話し合った時の結果を振り返る。 T: 「AさんとBさんの話し合った時とCさんが入って3人で話し合った時は、それぞれどういう結果になったかな」 C: 「当事者同士の話し合いでは、またけんかになって、うまく解決できない班が多かった」 C: 「Cさんが入ると、お互いの気持ちを聞き出せるから、うまく解決できる班が多かった」 	<ul style="list-style-type: none"> ・AさんとBさんで話し合った時やCさんが入った時の話し合いの結果を振り返らせる。 	
		<div style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; color: yellow; font-weight: bold;"> 生活の中でけんかが起きたら、どのようにして解決したらよいだろうか。 </div>		
展開	② 当事者同士の交渉で紛争を解決するときの留意点	<ul style="list-style-type: none"> ● AさんとBさんの当事者同士での話し合いの結果を踏まえ、当事者同士でけんかを解決するとき気をつけるべきことについて考える。 ➡ 児童にワークシート4を配布する。 T: 「実際に、友だち同士の間で問題が起きたときに、お互いが注意しなければならないことは何だろう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習を踏まえて、児童が実感として気をつけなければならないと思ったことを引き出すように留意する。 	<div style="border: 1px solid green; padding: 2px; display: inline-block;"> ワークシート4 </div>





	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の 留意点	資料等
展開	<p>③ 第三者を交えた調停で紛争を解決することの意義</p> <p>④ 調停人の留意事項</p>	<p>→ 児童にワークシート4の①へ記入させ、発表させる。</p> <p>C: 「ものの言い方に気をつけないと、余計けんかになる」 C: 「暴力をふるってはいけない」「感情的にならないように気をつける」 C: 「自分が悪いことは悪いと認め、素直に謝る」 T: 「けんかを、当事者だけでなく、他の人を交えて解決しようとしたときは、当事者だけで解決しようとしたときと、どんないいことがあるかな」</p> <p>→ 児童にワークシート4の②へ記入させ、発表させる。</p> <p>C: 「けんかの当事者の気持ちが楽になって、言えなかったことも言えるようになる」 「間に入ってくれる人に対しては、けんか腰で話をするのが少なくなるので、話し合いがしやすい」 C: 「間に入ってくれる人は、冷静にけんかを見ているので、当事者同士では思いつかなかった解決方法を教えてもらえる」 T: 「誰かがけんかの調停をしてくれたら、その人がどんな態度でも、けんかは解決しやすくなるのかな。調停をする人は、どんなことに気を付けるべきかな」</p> <p>→ 児童にワークシート4の③へ記入させ、発表させる。</p> <p>C: 「片方にだけ肩入れして話を聞く人から解決方法を提案されても、不公平だから受け入れられない」 C: 「お互いの話をしっかりきいてから、よく考えてアドバイスをしてあげないといけない」 C: 「けんかの当事者の話を真剣に聞かないといけない」</p>	<p>・前時までの学習を踏まえて、児童が調停の意義を実感できるよう留意する。</p> <p>・前時までの学習を振り返らせながら考えさせる。</p>	

	学習内容	学習活動 発問(教師=T), 予想される発言例(児童=C)	指導上の留意点	資料等
	⑤ 生活の中での紛争解決	<p>T: 「自分たちの生活の中でけんかやもめごとが起きたら, どのように解決したらよいか」</p> <p>→ 児童にワークシート4の④へ記入させ, 発表させる。</p> <p>C: 「暴力をふるわず, 落ち着いて話し合う」 C: 「自分が言いたいことはきちんと言うべきだけど, 言い方が悪いと余計けんかになるので, 言葉づかいに気を付ける」 C: 「相手にも言い分があるかもしれないので, はじめから決めつけなくてよく聞いてみる」 C: 「けんかしている当事者だけで解決できそうになかったら, 他の人に間に入ってもらったら, 言えなかったことが言いやすくなる」 C: 「けんかをして困っている友だちから相談を受けたら, 公平な気持ちで一緒に解決方法を考える」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習を振り返らせながら考えさせる。 	
まとめ	⑥ けんかとその解決について	<p>T: 「これまでの授業を振り返り, 生活の中でけんかが起きたらどのように解決したらよいか, 自分の生活にどのように生かすのか, 自分の意見を書いてみよう」</p> <p>→ 児童にワークシート4の⑤へ記入させ, 発表させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・けんかが起こってしまってもそれを解決することが大切であること, 感情的に話し合うとうまくけんかを解決できないこと, 当事者だけではうまく解決できなかつたら, 誰かに入ってもらうと話し合いがしやすいことについて, 自分の考えをまとめる。 ・大人の世界でも争いや対立は存在するが, 当事者の間に入って争いを解決するものとして裁判所などの司法機関があることについて補説してもよい。 	



ねん 年 くみ 組 ばん 番 なまえ 名前 ()



せいかつ なか お けつ
生活の中でけんかが起きたら、どのようにしてかい決したらよいだろう



① ^{とも}友だち ^{どうし}同士の ^{あいだ}間で ^お起きたけんかを ^{けつ}かい決するとき、
^{たが}お互いが ^{ちゅうい}注意しなければ ^{なに}ならないことは何ですか？



② ^{かんけい}けんか ^{ひと}と関係のない ^{あいだ}人が ^{はい}けんかの ^{けつ}間に入って ^なかい決しよう ^なとすると、
どんな ^ないい ^なことが ^なあります ^なか？



③ ^{あいだ}けんかの ^{はい}間に入る ^{ひと}人は、^きどんな ^なことに ^な気が ^なつくて、
^{ひと}けんかを ^{はなし}している ^な人 ^なたち ^なから ^な話を ^な聞けば ^なよい ^なですか？



④ ^{せい}これから、^{かつ}生活 ^{なか}の中で ^おけんかが ^{けつ}起きたら、
どのように ^なかい ^な決 ^なしたら ^なよい ^なで ^なしょう ^なか？



⑤ ^{がく}これまでの ^{しゅう}学習 ^ふを ^{かえ}振り ^{かえ}返し、^じ自分 ^{ぶん}の ^{かんが}考え ^かを書 ^かきましょう。